

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

奈良市鴻ノ池運動公園及び旧奈良監獄が連携した奈良の食・特産品からつくりだす地域の魅力発信拠点整備プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

奈良県奈良市

3 地域再生計画の区域

奈良県奈良市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

奈良市は特に若年層の人口減少及び少子高齢化に伴う人口構造の変化に直面しており、これにより市民の生活、地域経済、地方行政に大きな影響を及ぼす可能性がある。地域の産業・商業については、労働人口の減少や一次産業等の担い手の不足とともに、人口減少により消費市場が縮小することにより、地域経済そのものの規模の縮小を引き起こし、このことが地域からの更なる人口の流出を招くこととなるため、地域経済の活性化が課題となっている。

とりわけ観光産業について、奈良市への入込客数は年々着実に増加している一方、そのほとんどが日帰り客であり、奈良県の2019年の延べ宿泊者数は47都道府県中46番目である。また、観光地としての魅力についても、実際には多様な魅力があるにもかかわらず、奈良は「見どころが少ない」というイメージを持たれている。具体的には、「歴史的環境」への期待値が飛び抜けているものの、その他の観光地としての魅力である、「おいしい食べ物」、「温泉」、「美しい街並みや景観」などの魅力に対しての期待値が低く、多くの観光客が東大寺や興福寺といった文化財等の主要観光地のみを訪れるのみで、その他の観光地としての魅力を味わい、知ってもらう機会なく、奈良から離れているという現状にあるため、これまで期待値が低いとされてきた観光資源の魅力をPRする場所が必要となっ

ている。加えて、魅力ある観光資源が市内に点在しており、それらを循環する公共交通機関の不足といった課題がある。

4-2 地方創生として目指す将来像

【概要】

奈良市としては、2025年の大阪・関西万博開催を見据え、最大の特徴である観光産業をより伸ばすとともに、消費市場を支える定住人口の増加に資する取組を行い、地域経済の活性化につなげて人口減少の課題解決を目指す。

まず、観光産業については、地域資源の発掘・活用や、多様な関心を持つ観光客のニーズを満たす受入体制の整備や強化、観光産業を先導する人材の育成や農産品のブランド化などを進める。また、観光資源としては、奈良市に数多くある社寺等以外も十分に活用する必要があるため、奈良観光への期待値が低いとされる要素の中でも、特に奈良の食品・特産物などのいわゆるハード以外に着目し、これらをPRする環境を整備することで、各地の特産品等の観光資源の多様かつ効率的な活用を実現させ、地域経済の更なる活性化を目指す。

個別の地域資源としては、法務省の所有する重要文化財旧奈良監獄については、奈良市に数多くある社寺等とは異なる魅力を持つ資源であり、ホテルや監獄史料館に改修されることから、これまでにない観光資源として新たな人流が期待される。とりわけホテルについては、重要文化財を活用した監獄ホテルとして全国唯一のものであり、奈良観光の課題である滞在型観光の促進に大きく寄与すると考える。また、旧奈良監獄に隣接する鴻ノ池運動公園においては、陸上競技場、野球場、総合体育館などの施設を有しており、各種のスポーツイベント、競技大会等も開催されていることから、これらの資源と連携した事業も展開し、奈良市への訪問者の増加を図る。

【数値目標】

K P I	事業開始前 (現時点)	2022年度増加分 1年目	2023年度増加分 2年目
本施設の年間利用者数(人)	0	0	20,000
本施設でのイベント開催回数(回)	0	0	5
本施設の年間売上額(千円)	0	0	10,000

2024年度増加分 3年目	2025年度増加分 4年目	2026年度増加分 5年目	K P I 増加分 の累計
20,000	40,000	40,000	120,000
5	10	10	30
10,000	20,000	20,000	60,000

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2の③及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ 地方創生拠点整備交付金(内閣府) : 【A3007(拠点整備)】

① 事業主体

2に同じ。

② 事業の名称

地産地消レストラン・物販施設、イベントスペース整備計画

③ 事業の内容

本事業で整備する施設は、以下を予定している。

・奈良県の特産品等を活用した飲食・物販施設

重要文化財である奈良監獄に囲まれた環境の中で、奈良全域の食材・素材にこだわった、奈良の伝統と歴史、季節を食で味わえる奈良の魅力を体感できるゾーンを整備する。また、奈良の特産品等を取り扱う物販施設も

併設する。

近隣に点在する食材・特産品等を集約し、歴史的・文化的な建造物以外にも存在する「食」・「特産品」の効率的なPRを行う場所として整備することにより、奈良全域の周遊を促す。また、鴻ノ池運動公園で開催するイベント時に運動公園内に簡易店舗を出店するなど、運動公園とも連携した活用を行う。

・多目的イベントスペース

多くの観光客の来場が見込まれる時期に合わせ、地域住民や若者が主催・参加する大規模なマルシェや野外ステージ、現代アートの展示会、壁のレンガを生かしたプロジェクションマッピング、体験型アート施設兼カフェ、e バイクの貸出によるサイクルツーリズムなど、各種イベントを開催できるイベントスペースを整備することにより、地域の若者の新たなチャレンジを支援する。また、観光協会や鴻ノ池運動公園関係企業及びスポーツ団体などとも連携し、多様なイベントに活用することで、より多く、多様な訪問者に奈良の「食」・「特産品」を知ってもらう機会を創出し、にぎわいを演出する。さらに、災害時には避難所として開放することで、地域の防災拠点としても活用する。

<計画の背景>

旧奈良監獄は、重要文化財をホテルや監獄史料館に改修するなど、全国に例を見ない施設であり、奈良の新たな観光名所として人流が生じることが期待される。

旧奈良監獄をホテル等にリニューアルすることにより、これまで奈良公園北部にはなかった、新たな観光拠点の創出と地域活性化という役割が旧奈良監獄と鴻ノ池運動公園エリアに期待され、伸び悩む奈良県の滞在型観光需要促進の起爆剤となりうるポテンシャルがある。

そこで、本事業は、平成29年12月25日に法務省・奈良県・奈良市で締結した「旧奈良監獄及び鴻ノ池運動公園周辺地域の活性化に関する包括協定書」に基づき、現在公共施設等運営権制度を利用して民間事業者が法務省の史料館等で活用を進めている重要文化財旧奈良監獄と隣接する鴻ノ池運動公園が連携し、各施設の特性を活かした新たな観光資源の整備を行う

ことで、歴史的な建造物や神社仏閣巡りなどこれまでの奈良観光の静的なイメージとは異なる、新たな奈良の魅力として、よりアクティブに楽しめるスポットを旧奈良監獄・鴻ノ池運動公園エリアに生み出すことで、1日目は旧奈良監獄でのゆっくりとした歴史体験や奈良の特産品のショッピング等、2日目は鴻ノ池運動公園でのアクティビティといったこれまでの奈良市では体験が困難であった多様な観光の動機を醸成し、奈良市への滞在型観光の推進を図るものである。

<基本方針>

観光地としての魅力づくりには、何より地域住民が暮らしてみても楽しいまちづくりが重要であり、地域住民目線での整備を進めていく。これにより、旧奈良監獄及び鴻ノ池運動公園エリアに地域住民によるにぎわいを生み出し、結果として、観光客の目線からも訪れてみたくなり、長く滞在したいと思える活気に満ちたまちづくりを実現する。

【若者の挑戦を応援できる仕組みづくり】

- ・アクティブなエリアイメージを醸成し、活気あふれる空間を作るために、地域の若者の力を活用する。若者が参入しやすい環境を整えることで、新たな取組の実現による観光の促進や、地域の未来にも貢献する。

【エリアのにぎわいを街全体へと波及させる仕組みづくり】

- ・旧奈良監獄・鴻ノ池運動公園エリアで醸成したにぎわいを、周辺地域につなぎ、中長期的視点に立ち、段階的に街の活気を広範囲に拡大する。

【奈良観光の拠点として滞在型観光を促進する仕組みづくり】

- ・奈良県等と連携し、奈良市だけでなく奈良全域の魅力を伝えるエリアを整備することにより、観光客に旧奈良監獄・鴻ノ池運動公園エリアを拠点として奈良全域に足を運んでもらい、奈良での滞在時間を増やす。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

本事業で整備する施設は、管理運営を指定管理者が行い、独立採算型事業として運営を行い、利用者から徴収する利用料金収入及び売上額を年間約20,000千円以上と見込んでいる。

旧奈良監獄保存活用事業の事業者が実施する矯正展や同事業に参画する

旅行会社が実施する旧奈良監獄見学ツアー等の機会、鴻ノ池運動公園で開催するスポーツ大会、イベントの機会も活用し、集客を高めていく。

【官民協働】

旧奈良監獄及び鴻ノ池運動公園については、法務省・奈良県・奈良市の包括連携協定が存在するところ、これらの公的機関に加えて、鴻ノ池運動公園関係でロート製菓株式会社、美津濃株式会社、旧奈良監獄保存活用事業関係で株式会社星野リゾート、株式会社合人社計画研究所、小学館集英社プロダクション、KNT-CTホールディングスなどの参画企業及び奈良市観光協会や、奈良交通など関係機関により、幅広い官民協働体制を構築する。

・奈良市

鴻ノ池運動公園や旧奈良監獄の関係者間の調整を行い、本施設の効果的な利活用を図る。また、市内の各種イベント時に本施設の広報を実施したり、本施設を起点に市内各所の観光地を巡るウォーキングやサイクリングコースを作成するなど、周辺の周遊促進施策を実施する。

・鴻ノ池運動公園関係企業

奈良マラソンやバンビシャス奈良の支援企業等であるところ、大会時や試合日におけるサブイベントで簡易店舗の出店などによる本施設のPRを行い、これまでスポーツ観戦のみで公園を訪れていた者に対しても、奈良の特産品のPRを実施する。

・旧奈良監獄関係企業

旧奈良監獄保存活用事業に参画する旅行代理店業者等と連携し、旧奈良監獄の見学ツアー等で本施設の活用を促進する。また、旧奈良監獄保存活用事業の一環として実施する矯正展(刑務作業製品の販売や矯正施設の広報を実施するイベント)など大規模イベント時の連携による、イベント限定商品の販売など、奈良の特産品についてのPRを実施する。

【地域間連携】

本事業で整備する施設について、奈良市のある県北部にとどまらず、県

内全域の資源をPRし、例えば多目的イベントスペースにおいてマルシェを開催し、県内全域の周遊を促すなど、地域資源の組み合わせによる相乗効果を狙い、地域経済の活性化を推進する。

また、本市は、平成30年1月12日に、全国でも珍しい府県を跨いだ包括協定を京都府木津川市と締結しており、本エリアは木津川市とも近接していることから、互いの持つ資源や特性を生かしながら連携・協力し、それぞれの地域の活性化及び持続的成長に向けた取組を推進する。具体的には、お互いの豊富な文化財や大仏鉄道など地域資源、飲食店等を巡るマイクロツーリズムを連携して実施する。

【政策間連携】

奈良市の主要産業である観光産業の強化だけでなく、起業支援など多角的な政策と連携して事業を展開することで地域経済の活性化の相乗効果を図る。

[地域ブランド力の向上]

奈良の特産品を活用した物販・飲食施設等を整備し、旧奈良監獄への来訪者が奈良の特産品や郷土料理に触れる機会を設ける。

また、鴻ノ池運動公園と連携し、場所的に近接する利点を活かし、同公園における競技スポーツ大会、その他スポーツイベントの開催時には、キッチンカーなど出張型の簡易店舗で出店するなどして、奈良の特産品等のPR機会を積極的に創出していく。

これらを通じて、観光客にとどまらずに、これまで観光に目を向けてこなかったスポーツ競技者などより多くの者に対し奈良の特産品等の魅力をPRし、ブランド力の向上を図っていく。

⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4-2の【数値目標】に同じ。

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証時期】

毎年度6月

【検証方法】

「奈良市まち・ひと・しごと創生総合戦略懇話会」において、K P I の達成度ほか事業の進捗および効果について、外部有識者等の視点から客観的な検証を行う。その内容を踏まえ、将来に向けて持続可能な事業構造になっているかの事業方向性を確認し、状況に応じて見直しを行うとともに、次年度の事業計画及び予算に反映させ改善につなげる。

【外部組織の参画者】

奈良県立大学名誉教授、シンクタンク・ソフィアバンク代表、大阪経済大学教授、株式会社日本政策投資銀行関西支店企画調整課課長、事業プロデューサー／ならそら代表／大阪芸術大学講師

【検証結果の公表の方法】

検証後、速やかに奈良市ホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・ 法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 86,638千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2027年3月31日まで

⑨ その他必要な事項

特になし。

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし。

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 鴻ノ池運動公園と連携したPR事業

ア 事業概要

鴻ノ池運動公園と連携し、場所的に近接する利点を活かし、同公園における競技スポーツ大会、その他スポーツイベントの開催時には、キッチンカーなど出張型の簡易店舗で出店するなどして、奈良県の特産品等のPR機会を積極的に創出していく。

イ 事業実施主体

奈良県奈良市

ウ 事業実施期間

2022年4月1日から2027年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2027年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

5-2の⑥の【検証方法】及び【外部組織の参画者】に同じ。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

4-2に掲げる目標について、5-2の⑥の【検証時期】に7-1に掲げる評価の手法により行う。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

5-2の⑥の【検証結果の公表の方法】に同じ。